

平成29年度 施策評価シート（平成28年度実績評価）

政策 07 信頼に応える行政運営

施策 01 適正な行財政運営の推進

主管課： 企画課

関係課： 財政課、議会事務局、総務課、秘書課、税務課、納税課、総合窓口課、市民協働推進課、会計課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか） 行政もしくは行政活動，市民	意図（どのような状態にしたいのか） 適正・安定的な行財政運営を行う。
-----------------------------------	---------------------------------------

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

総合計画に掲げた成果指標が目標値を達成できた施策の割合						(%)	企画課
基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)		
52.20	42.20	23.80	35.00	50.00	100.00		
向上指針	上がると良い	(状況) 平成28年度は後期基本計画1年目に当たるため、前年度の達成割合との比較はできませんが、参考に前期基本計画の1年目の達成割合26.7%と比較すると、その達成割合は若干低くなっています。 (原因) 成果指標を確認できる42指標のうち、10指標が平成33年度の目標値を達成しています。平成28年度は後期基本計画の1年目であり、基本事業のKPIを達成している割合が28.8%にとどまっていることが原因だと考えられます。					
対前年度							
目標達成度	低						
次年度課題	課題とする						

基礎的財政収支指数(プライマリーバランス)						財政課
基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)	
1.14	1.09	1.16	1.15	1.10	1.00	
向上指針	上がると良い	(状況) 平成27年度と比較して0.07%向上しました。 (原因) プライマリーバランスが向上した理由としては、各事業において借入を抑制してきたことなどが上げられます。				
対前年度	向上					
目標達成度	達成					
次年度課題	課題としない					

基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)	
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
	決算	決算	決算	予算	見込
事業費合計	1,523,075	1,915,883	1,654,742	1,778,523	1,672,528
人件費	0	0	329,025	0	0
トータルコスト	1,523,075	1,915,883	1,983,767	1,778,523	1,672,528

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向				事業費				
					H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
01 計画行政の推進		向上			208,323	344,092	355,586	360,092	360,432
02 ICT（情報技術）の活用	横ば	向上			109,371	165,816	198,710	210,526	193,750
03 健全な財政運営の推進	向上	低下			2,580	2,773	387,821	524,921	603,210
04 適正課税と収納率の向上	向上	向上			151,004	143,357	135,472	138,839	139,197
05 公有財産の有効活用と適切な管理	横ば	維持			147,771	240,797	126,144	116,439	116,439
06 窓口サービスの向上	向上	向上			19,972	25,701	29,451	46,689	46,689
99 施策の総合推進					884,054	993,347	421,558	381,017	212,811

5 施策全体の取組状況と課題

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

<p>第二次守谷市総合計画「前期基本計画」においては、目標を達成できた施策が半数以下にとどまっています。そのため、後期基本計画での確実な目標達成に向けて、事務事業評価の見直しにより目的や課題を認識する職員一人ひとりの力を向上させていくとともに、共通の管理フォーマット等を活用することで、計画的かつ着実に事業を進められる体制を整えていきます。</p>	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

<p>平成28年度は行政評価システムの再構築に取り組み、これまでよりもPDCAサイクルを意識・徹底できるような視点を取り入れました。</p> <p>今後、第二次守谷市総合計画「後期基本計画」の着実な推進を図るため、市民ニーズを的確に把握するとともに、行政課題を洗い出し、課題解決のための施策を実施していきます。さらに、予算編成と行政評価の連携を強化し、一体性のある行政運営を行っていきます。</p> <p>また、庁内ネットワークについては、引き続き、セキュリティの強化を図っていきます。</p>	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	削減

次年度の方向性（当該年度の全庁政策会議での決定事項）

<p>総合計画後期基本計画の着実な推進を図るため、予算編成と行政評価が連携した一体性のある行政事務を進めるとともに、行政評価における年度別目標値の設定及び管理に取り組んでいきます。</p> <p>健全な財政運営を図るため、経常経費の抑制に努めるとともに、使用料等の受益者負担の見直しを検討します。</p> <p>個人番号カードの普及促進及び電子申請に対応できる新たなメニューの検討等により、市民サービスの向上に努めます。</p>	成果方向性	向上
	コスト方向性	削減